

実践的FDプログラム 受講規約

(趣旨)

本規約は、学校法人立命館（以下「本学」といいます。）が提供する実践的FDプログラム（以下「本プログラム」といいます。）を利用する受講者の受講条件を定めるものです。本プログラムの受講にあたっては、本規約の内容をよくお読みになり、ご理解いただいた上で、受講くださいますようお願いいたします。

第1条（適用および規約の変更）

1. 受講者は、本規約に同意のうえ本プログラムを利用してください。本プログラムの専用システムにログインし、利用を開始したことをもって、受講者は本規約のすべての条項に同意したものとみなします。
2. 本学は、次の各号のいずれかに該当する場合、本規約を変更することができます。本規約が変更された後に受講者が本プログラムの受講を行った場合は、変更後の規約に同意したものとみなします。
 - (1) 変更が受講者の一般の利益に適合するとき
 - (2) 変更が契約の目的に反せず、変更の必要性、変更後の内容の相当性その他の事情に照らして合理的であるとき
3. 本学は、前項による変更を行う場合、効力発生日を定め、変更する旨、変更後の内容および効力発生日を本学ウェブサイトへの掲載その他適切な方法により周知します。
4. 本学は、第2項による変更が受講者に重要な影響を及ぼすと判断する場合、あらかじめ合理的な方法で周知し、必要に応じて相当の経過措置を設けます。

第2条（定義）

本規約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるとおりとします。

- (1) 契約者 本プログラムの利用を申込み、本学との間で利用契約を締結した団体または個人。
- (2) 受講者 契約者を通じて、または契約者本人として、実際に本プログラムを受講する個人。
- (3) 団体申込 大学、高等教育機関等の団体単位で行う申込手続
- (4) 個人申込 受講者本人が行う申込手続
- (5) 座席（シート） 受講者1名に対応する受講権限。

第3条（登録情報の管理およびアカウント管理）

1. 受講者は、本プログラムの利用に際して登録する情報（氏名、メールアドレス等）が、真実かつ正確な情報であることを保証するものとします。登録内容に変更が生じた場合は、直ちに専用システム上で自ら修正してください。
2. 本プログラムのアカウントおよびパスワードは、受講者本人のみが使用するものとし、第三者への共有、貸与または譲渡をすることはできません。
3. 受講者のアカウント管理不十分、第三者による使用その他受講者の責めに帰すべき事由により生じた損害については、本学の故意または重大な過失による場合を除き、本学は責任を負いません。

第4条（受講環境およびプログラム内容の変更）

1. 受講者は、本学ウェブサイトに掲載される推奨環境を自己の責任で確認し、必要な機器および通信環境を整備してください。
2. 本プログラムはオンラインで提供されるものとし、その具体的な構成、カリキュラムおよび内容は、本学ウェブサイトまたは本プログラムの専用システム上の表示に従うものとします。
3. 本学は、教育上の効果向上や運営上の必要がある場合、受講者への事前通知なく、本プログラムの内容等を変更することができます。
4. 前項の変更のうち、受講者に重要な影響を及ぼす変更（修了要件、利用期間等）を行う場合、本学はあらかじめ合理的な方法で周知し、必要に応じて相当の経過措置を設けることとします。
5. 前項に定める経過措置終了後に受講者が変更後のプログラムを受講したときは、受講者は、本プログラムの内容等の変更を理由として、本プログラムの利用契約の解除、受講のキャンセル又は受講料等の返金を求めることはできません。

第5条（知的財産権および成果物の利用許諾）

1. 本プログラムを通じて提供されるコンテンツ（動画、教材、資料その他一切の著作物）の著作権および知的財産権は、本学または正当な権利を有する第三者に帰属します。受講者は私的学習以外の目的でこれらを利用（複製、転載、改ざん、公衆送信等）することはできません。
2. 受講者が本プログラム内で作成および提出した成果物（ワークシート、授業動画およびポートフォリオ）の著作権は、当該受講者に帰属します。
3. 受講者は本学に対し、合格判定、修了判定、本プログラムの運営、分析、改善、ピアレビューの実施および本プログラムの広報または宣伝活動（事例紹介等）に必要な範囲で、前項の成果物を無償で使用（複製、翻案、他の受講者への開示、公衆送信

等)することを許諾するものとします。ただし、広報または宣伝目的で使用する場合は、個人が特定されないよう配慮します。

第6条（守秘義務および禁止事項）

1. 本プログラムには、他の受講者の授業動画やワークシートを閲覧する「ピアレビュー」が含まれます。ピアレビューでは、他の受講者に対し、受講者の顔、氏名が開示されます。受講者は、そこで知り得た他の受講者の情報を厳重に管理するものとし、第三者に開示または漏洩してはなりません。
2. 受講者は、以下の行為を行ってはなりません。
 - (1) 他の受講者の授業動画、ワークシート、コースポートフォリオ等の保存、複製、二次利用、改ざんまたは外部への公開
 - (2) 本プログラムのコンテンツ（講義動画・資料等）のキャプチャ、録画、録音およびSNS・Web等への投稿・配信
 - (3) 他の受講者、講師または本学に対する誹謗中傷、嫌がらせ、不適切なコメントの送信
 - (4) スпам行為（無関係な情報の連続投稿、著しく長い文章の投稿等）
 - (5) 不正アクセス、プログラム等による自動取得（スクレイピング）その他本学が不正と合理的に判断する行為またはそれらに類する行為
 - (6) 第三者になりすまして受講する行為
 - (7) 政治活動、宗教活動、営利活動、またはそれらに類する行為
 - (8) 刑法上の犯罪行為、公序良俗に反する行為、またはこれらに類する行為
 - (9) その他本学が不適切と判断する行為

第7条（個人情報および受講データの取扱い）

1. 本学は、受講者の個人情報を、個人情報の保護に関する法律、本学のプライバシーポリシー（<https://www.ritsumei.ac.jp/privacypolicy/>）および学校法人立命館個人情報保護規程に従い、適切に取り扱います。
2. 本学は、受講者の学習状況（視聴ログ、進捗、テスト結果、提出物、ピアレビューでのコメント、アンケートへの回答結果）を、本プログラムの運営、学内外への広報、分析、改善、合格判定、修了判定、ピアレビューの実施、本プログラムに関する実施報告及び公表ならびに統計資料の作成のために取得および利用します。
3. 団体申込の場合、本学は、当該団体の団体管理者に対し、本学が定める範囲内において受講状況の一部（VOD視聴状況等）を開示することができ、団体管理者は、本学が定める範囲内において、当該団体に属する受講者の一部の受講状況を確認することができます。

第8条（オープンバッジの付与）

1. 本学は、修了要件を満たした受講者に対し、オープンバッジを授与します。
2. 受講者は、オープンバッジ発行に必要な個人情報が外部機関（一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク）に提供される場合があることに同意するものとします。

第9条（受講履歴の失効）

1. 受講期間が終了した場合、受講履歴は失効します。受講期間終了後に、改めて受講する場合であっても、過去の履歴の引き継ぎは行われません。

第10条（提供の中断・停止・終了および利用停止）

1. 本学は、システムの保守、天災、通信障害、または本学がやむを得ないと判断する事情がある場合、本プログラムの提供を一時中断、停止、または終了することができます。
2. 本学は、受講者による本規約違反または不正利用の疑いがあると合理的に判断した場合、調査および被害拡大防止のため、事前に通知することなく一時的に受講者のアカウントを停止し、当該受講者に対して本人確認、追加認証、説明資料の提出等を求めることができます。
3. 受講者が本規約に違反した場合、本学は事前に通知することなく、当該受講者のアカウント利用を停止し、受講資格を取り消すことができます。

第11条（免責事項）

1. 本学は、受講者の通信環境やコンピュータ機器の故障、不具合等により本プログラムを受講できないこと、または損害が生じたことについて、一切の責任を負いません。
2. 本プログラムの内容の正確性、有用性、特定の目的への適合性等について、本学は明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。
3. 受講者間（ピアレビューを含む）で生じた紛争、トラブルについて、本学は一切関与せず、受講者または法人管理者の責任において解決するものとします。

第12条（損害賠償）

1. 受講者が本規約に違反し、本学または第三者に損害を与えた場合、賠償責任を負います。この損害には、調査・対応等のために本学が支出した合理的な費用を含みます。

2026年3月2日施行

第13条（準拠法および合意管轄）

1. 本規約の準拠法は日本法とし、本プログラムおよび本契約に関する一切の紛争については、京都地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上